

まちづくりセンター1階のおすすめ散策ルートでは、函館・大沼・噴火湾ルートの旬の情報をご紹介します。



シーニックバイウェイ北海道 函館・大沼・噴火湾ルート

今月号は、昨年度より実施している「シーニックの森づくり事業」と、昨年度製作した「シーニック絵本」について、紹介致します。

○シーニックの森づくり

シーニックの森づくり事業とは、北海道を訪れた観光客等に植樹費用を負担して頂き、ドライブで排出されたCO₂を植樹によりオフセットしてもらう事業です。

当ルートでは、北斗市のきじひき森林公園で実施しており、「人為的な開発以前の潜在的な植生を基本に自生種を活用」することとしており、付近の森から山取した苗木のみを植樹しています。

平成22年5月16日（日）に、「きじひき森林公園散策と広葉樹の植樹会」を実施しました。この活動は、きじひき森林公園内にあるブナ林の中をNGO函館自然観察会の鎌鹿隆美氏にガイドして頂きながら散策しました。

また、昨年11月7日に植樹したブナ等の苗木約60本の状況を確認した後、新たに植樹を行いました。今回新たに行う植樹は、今年2月に実施したカーボンオフセット型ツアー「シーニックdeナイト2010鑑賞バスツアー」実施より排出されたCO₂をオフセットするためのブナ3本分の代行植樹も含んでおり、参加者一人当たり500円を負担して頂き、ブナなど約30本を植樹しました。



○シーニック絵本「辨開風次郎翁物語」

このシーニック絵本を製作するきっかけとなったのは、平成20年度に函館・大沼・噴火湾ルート運営代表者会議が主体となり、渡島管内の小中学校にもご協力いただき、函館市・北斗市・七飯町・鹿部町・森町・八雲町の地域資源を紹介する「シーニックかるた」を作成したことに始まります。

しかし、「かるたに使用されている読み札の文言が難しい」との話を様々な人から聞き、なんとかできないものかと頭を悩ませた結果、一つの文言を物語風に詳しく紹介したシーニック絵本を製作することとなりました。

シーニック絵本第一弾として、シーニックかるたの読み札のひとつ「**た** 高く評価された業績アイヌ酋長」を取り上げました。この絵本は、函館市地域交流まちづくりセンターや函館市・北斗市・七飯町・鹿部町・森町・八雲町の各図書館にありますので、興味のある方が是非ご覧下さい。なお、シーニックかるたは、函館市地域交流まちづくりセンターのみご覧頂けます。

また、さらにもっと多くの方にシーニック絵本をご覧頂けるよう、八雲町役場の発案・協力によりウェブ版シーニック絵本も完成しておりますのでそちらもご覧下さい。

<http://www.town.yakumo.lg.jp/taco-jiro/>



▲シーニックかるた



▲シーニック絵本